

日本福音主義神学会西部部会
2018年度秋季研究会議

「今日の教会に問うプロテスタントの
イエスの母マリヤ理解」

2018年11月19日(月)

基調講演：橋本昭夫氏（神戸ルーテル神学校教授）

会場：神戸ルーテル神学校

〒611-0052 神戸市中央区中島通 2-3-5

TEL\ 078-221-6956 FAX\ 078-221-5825

<http://www.koluthse.jp/> office@koluthse.jp

ご案内

2017年秋の日本福音主義神学会全国研究会での宗教改革500年を覚えたディスカッションの中で、プロテスタント教会に対する問題提議として投げかけられたもの一つに「イエスの母マリヤをプロテスタント教会はどのように神学的に理解するのか」というものがありました。一般的に、プロテスタント教会は、ローマ・カトリック教会などにみられるマリヤの聖人理解に同意しない立場をとります。しかし、そうであったとしても、マリヤ論を深めることは、神学議論を深める機会であり、宣教的なヒントにもなるという認識は、プロテスタント教会、さらには福音主義神学に取り組むものの共通の認識です。

具合的には、三つの面で関心が持たれています。まず、人間論的関心です。マリヤの女性性を糸口にジェンダーに関わる問題に広がる可能性をもっています。次に、キリスト論、そして救済論的関心です。罪なき人間イエスの母、神の母、ということを経糸口に、キリストの受肉の問題や人間の原罪の問題へと広がる可能性をもっています。三つ目に、宣教論的関心です。マリヤが教会においてどのように位置づけられるか、という点から切り込んで、礼拝論、とくに尊敬と崇拜の違いや、マリヤを宣教の道具化できるのか、という福音と文化的メッセージのかかわりなど、議論は広がる可能性をもっています。

そこで、今回の研究会議では、午前の主題講演では橋本昭夫氏に、ローマ・カトリック教会の立場やプロテスタント教会の立場を歴史的にたどっていただき、その中で正教会の立場に言及していただこうと願っています。このような歴史的視点に立ちつつ、今日の福音主義書教会としてマリヤ論を論じる広がりや意義を明確にすることに焦点をあてます。そして、午後のパネル・ディスカッションでは、歴史神学的視点、教義学的視点、聖書学的視点から、三人の方に主題を深めていただきたいと思います。

それとともに、会員による研究発表の分科会を行い、昼食時には神学生集会を開く予定にしております。

爽やかな研鑽と交わりの時となることを願っております。ぜひご参加ください。

2018年秋季研究会議コーディネーター 坂井純人、正木牧人、鎌野直人

＜プログラム＞

10:00 受付開始

10:30～11:00 開会礼拝 司会・奨励 正木牧人氏（コーディネーター）

司会 鎌野直人氏（コーディネーター）

11:00～12:30 主題講演および質疑応答

今日の教会に問うプロテスタントのイエスの母マリヤ理解

講演 橋本昭夫氏（神戸ルーテル神学校教授）

12:30～13:30 昼食（事前申し込みが必要、500円）

（12:45～13:30 神学生集会、日本福音主義神学会西部部会理事会）

13:30～15:00 分科会（コーディネーター：坂井純人氏）

発表 鈴木考紀氏、栗崎路氏、吉田徳雄氏、真鍋献一氏
金慧眞氏、岡研二郎氏、岸本大樹氏、長谷部真氏

15:00～16:00 パネル・ディスカッション

司会 鎌野直人氏（コーディネーター）

パネラー 大庭貴宣氏、瀧浦滋氏、南野浩則氏

16:00～16:30 総括・閉会の祈り 坂井純人氏（コーディネーター長）

16:30 散会

会 場 神戸ルーテル神学校

〒611-0052 神戸市中央区中島通 2-3-5

TEL\ 078-221-6956 FAX\ 078-221-5825

<http://www.koluthse.jp/> office@koluthse.jp



J R、阪急、阪急三宮駅から

市バス 2 番系統「阪急六甲」方面行き、または 18 番系統「摩耶ケーブル」方面行きに乗車、青谷バス停で下車。阪急王子公園駅から徒歩約 15 分。

＜昼食＞

11/13（火）までに神戸ルーテル神学校（office@koluthse.jp）宛に「福音主義神学会弁当申し込み」と明記の上、昼食を申し込む人の名前をお送りください。代金 500 円は、当日受付でお支払いください。当日の昼食受け付けはありません。近隣にミニコプがあります。

＜コーディネーター＞

（長）坂井純人（神戸神学館教師、神戸改革派神学校講師、東須磨教会牧師）

正木牧人（神戸ルーテル神学校校長、伊丹福音ルーテル教会牧師、AGST/J 校長）

鎌野直人（関西聖書神学校校長、姫路城北教会牧師、AGST/J Th. D. 課程主任）